

平成 27 年度アスベスト大気濃度調査結果について



環境省では、アスベスト(石綿)による大気汚染の状況を把握するために平成 17 年度より毎年度大気中のアスベスト濃度を調査しており、このたび、平成 27 年度の調査結果を取りまとめました。概要は以下の通りです。

- 1)調査地点:全国 44 地点 110 力所(解体工事現場や旧石綿製品製造事業場を対象)
- 2)測定方法:「アスベストモニタリングマニュアル(第 4 版)」(環境省 水・大気環境局大気環境課)
- 3)調査結果
 - ・ 発生源周辺地域(調査実施 19 地点)…総繊維数濃度の幾何平均値:0.056~5.5 本/L
総繊維数濃度が 1 本/L を超えた地点:2 地点(いずれも石綿確認)
(旧石綿製品製造事業場と解体現場)
⇒旧石綿製品製造事業場については、自治体による聴き取り、及び集じん装置の増設等の飛散防止対策を実施
 - ・ バックグラウンド地域(調査実施 21 地点)…総繊維数濃度の幾何平均値:0.056~0.38 本/L
総繊維数濃度が 1 本/L を超えた地点:無し
 - ・ その他地域(破碎施設)(調査実施 4 地点)…総繊維数濃度の幾何平均値:0.056~2.1 本/L
総繊維数濃度が 1 本/L を超えた地点:1 地点(石綿確認されず)
 - 継続調査地域(29 地点 60 力所)における調査結果
総繊維数濃度の幾何平均値:0.12~0.33 本/L

当社は、石綿分析に係るクロスチェック事業(日本作業環境測定協会)で空気においてAランクの評価を取得しております。お困り事・ご相談事等ありましたら、お気軽にお問い合わせください。

資料 平成 28 年 9 月 15 日付 環境省 報道発表資料

研究開発箇所 杉田高則